

ミニバスケットボール 審判の合図(シグナル)の変更

競技規則の変更に伴い、ミニバスケットボールでは、審判の合図(シグナル)が変更になります。ルールの変更はありません。

合図(シグナル)の変更点は、5点になりますが、大きく分けると『(1) ファウルを取り上げたとき』『(2) ファウルを取り上げたあと』『(3) TOへのレポート』の3つになります。

(1) ファウルを取り上げたとき：

手を握って上に上げる(笛を鳴らして)。

* 反対の手を選手に伸ばさない。

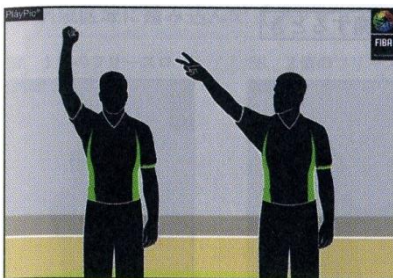
* ただし、選手が密集していて特定できない場合は、選手に手を向けて伸ばしてもよい。



(2) ファウルを取り上げたあと：その後のプレイの指示

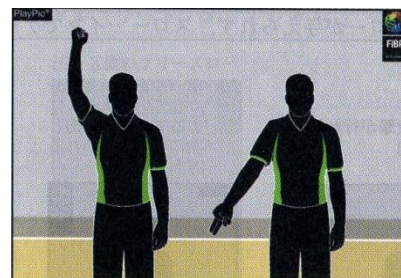
ゲーム・クロックを止めたあと、その後に再開するプレイ(フリースロー、あるいはスロー・イン)についてその場で示す。

① ショットの動作中のプレイヤーに対するファウル



ファウルでゲーム・クロックを止める合図をしたのち、その場でフリースローの数を示す

② ショットの動作中ではないプレイヤーに対するファウル



ファウルでゲーム・クロックを止める合図をしたのち、その場で床をさし示す

(3) TOへのレポート：

① 声によるコミュニケーション：

TOにファウルのレポートをする際に、ジェスチャーとともに番号を言葉で伝え、TOとのコミュニケーションをとる。

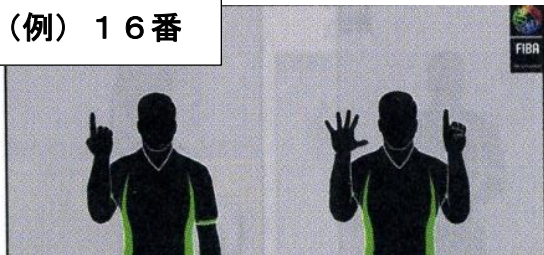
* 番号(言葉&ジェスチャー) ⇒ ファウルの種類(ジェスチャー)

⇒ 試合の再開方法(スロー・インの方向 あるいは フリースローの数 のジェスチャー)

②番号の示し方:

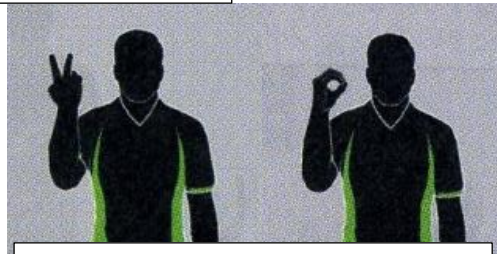
15番までは従来通りとし、**16番以降**からの示し方が変更された。右手の十の位は**手の甲**をT.O席に向けて表示する。**0番**は**手の形を0**にして、表示する。

(例) 16番



はじめに**手の甲を見せて**1本指を示し(「十の位」を意味する)、つづいて「6」を示す(「一の位」を意味する)
*17~19番もこの方法に準ずる

(例) 20番



はじめに**手の甲を見せて**2本指を示し、つづいて「0」を示す

③ファウルの示し方:

T.Oにファウルのレポートをする際の種類が**細分化**された。変更前からあるジェスチャーに、以下の種類が追加、変更された。

*ファウルの数が増えたわけではない。



1. ハンド・チェックング

*主にポストマンに対する手

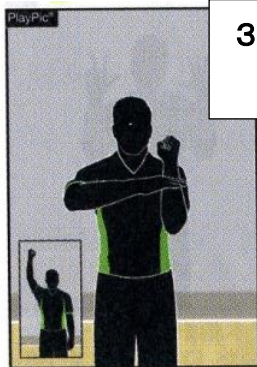
手首を握って手のひらを見せ、前に出す



2. イリーガル・ユース・オブ・ハンズ

両手のこぶしを握って手首をたたく

*片手のみこぶしから、両手のこぶしに変更



3. ショットの動作中のプレイヤーの腕(手)に対するファウル

手のひらでもう一方の前腕をたたく



4. 頭をたたくファウル

*主にショットの動作中に起こるファウル

頭をたたく(頭に触れる)まねをする